

平成28年の年頭にあたり、市民の皆様にご挨拶申し上げます。

平素より皆様方におかれましては、宇和島市政の推進と発展に多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、昨年は宇和島藩祖伊達秀宗公の入部400年にあたる年であり、3月から11月までの8カ月間に渡り、「宇和島伊達400年祭」を開催致しました。市民の皆様には多くのイベントへのご参加、ご協力をいただきましたことに、重ねてお礼を申し上げます。この「宇和島伊達400年祭」は、地域の活性化や、観光客の増加などの成果を生むとともに、宇和島に息づく伊達家の歴史や文化、そして宇和島の素晴らしさを我々が今一度見つめ直し、胸に刻むことができたのではないかと考えております。昨年は宇和島市にとっては多くの節目を迎えた年であり、数多くの記念行事が行われる一方、ハード面においても、津島岩松ICまでの

宇和島道路の全線開通や、九島架橋の橋桁設置など、長年継続してきた事業が大きな進展を見せた1年であったと思います。

明けて今年も、「次の10年」「次の100年」の未来に向かって、力強い一歩を踏み出して行きたいと考えております。少子高齢化・人口減少への対応、産業の振興、雇用の確保など、待ったなしの課題に加え、社会基盤の整備、行財政改革の推進など、まだまだ多くの問題が残っておりますが、宇和島市における地方創生策の基本方針となる「宇和島市総合戦略」の策定により、地域の活性化、そして人口減少の歯止めとなる施策に取り組んでいるところであり、国や県、関係機関と連携を強め、施策を推進して行きたいと考えております。また、南予全域を舞台として開催される「えひめいやし」の南予博2016についても、「宇和島伊達400年祭」で培った経験を生かし、地域の活性化、そして地域文化の振興に全力で取り組んで行き



宇和島市長
石橋 寛久

たいと考えております。

今後とも安全で安心して暮らせるまちづくりを行っていかるとともに、市民の皆様に住んでよかったと本当に喜んでいただける宇和島市の実現のために、私をはじめ職員一丸となり全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして宇和島市のますますの発展と、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

未来に向かって

2016年

平成28年は申年です。サルは、「桃太郎」や「サルカニ合戦」にも登場するおなじみの動物です。

ひとくちにサルといっても、体重や種類など実にさまざまです。ゴリラは大きいものでは、体重が200kg以上あります。一方、マダガスカルにいるミミゲコビトギツネザルは、45gほどです。また、メガネザルなどの原猿といわれる原始的なサルや、オランウータンやチンパンジーのように、ヒトニザル（人似猿）といわれる高等霊長類もいます。

日本に生息しているのは、ニホンザルです。顔とおしりの赤い、おなじみのサルです。ニホンザルは、昔から日本人に親しまれてきました。昔話はもちろんですが、古事記や日本書紀にも登場し、道案内をするサルタヒコノカミは、サルであるともいわれ、いまでは道祖神としてまつられています。

ことわざにも、サルにまつわるものがいろいろあります。だれでも知っているのは「サルも木から落ちる」でしょう。これは、サルを木登りの

宇和島という樹木に 素晴らしい果実が熟すために

新年、あけましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、平素より、市議会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、この場をお借りいたしましたして厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の我が国は、浅間山や口永良部島の火山噴火をはじめ、宇和島市の姉妹都市であります宮城県大崎市も台風18号による豪雨により、深刻な浸水等の被害を受けるなど、気候変動による自然災害を多く受けた年であったと思えます。また、国外では、ISのテロ、中国の南沙諸島埋め立て問題など、残酷な事件や国際間紛争の火種が多発した年でもありました。

このようななか、宇和島市におきましては、昨年は新宇和島市誕生10周年、伊達秀宗公が入部して400年、更には仙台市との姉妹都市締結40周年を迎

え、当市にとりましては記念すべき節目の1年であったと思えます。

さて、「ご承知のとおり、2016年は「申年」です。「申」という字は、「樹木の果物が熟して固まってく様子」を表したものだそうです。現在、本市では、総合戦略推進本部会議におきまして、宇和島という樹木を分析するとともに、将来の人口、展望を推計・検討し、将来の方向性という果物を熟させ、3月には「宇和島市総合戦略」という、市がこれから向かう方向性が固まる予定となっております。

私も市議会といたしまして、今後とも効果的かつ効果的な施策を推進して、活力と魅力あふれる宇和島づくりのために、より一層の創意工夫と努力を積み重ね、行政運営への監視機能を高めるとともに、議会改革を推進し、議会

今年^{こゝろ}は申年

としての政策立案能力の向上に努めるなど、市民の皆様のご期待に応えられるよう、決意を新たにしている所存でございます。

どうか、本年も市議会に対し、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして、実り多き1年になりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



宇和島市議会議長
上田 富久



名人としていられるわけですが、一方、「サルまね」「サル知恵」などになると、サルは笑いの扱いされています。

近くでは、滑床で野生のサルを見るができます。間近で気軽に見ることはできませんが、大勢のサルに出会うと少し怖い感じもあります。開発で山のエサがなくなつたために里に出てドライバーにエサをねだったりということがよくあるようです。サルを間近に見られるのは楽しいのですが、やはり野生動物と人間は、適当な距離を置いて共存するのが自然ではないでしょうか。サル年を機に、こんなことも考えてみませんか。



平成28年元旦
市議会議員一同

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

政治家が選挙区内の皆さんへあいさつ状を出すことは法律で禁止されていますので、議員個人からの年賀状は遠慮させていただきます。